



2021(令和3)年度 決算概要

2022(令和4)年 5月30日

新潟県厚生農業協同組合連合会
<https://www.niigata-kouseiren.jp/>

令和3年度の概況と主な取り組み

概況

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えや患者の受入制限等が継続。外来患者数は前年度比で若干の回復傾向となったものの、入院患者数は当該感染症病床の更なる増床が主な要因となって大幅に減少したことで収益は減少しました。各施設では感染症対策（ワクチン接種、PCR検査、発熱外来設置等）の強化、当該感染症患者の受け入れ、診療体制の確保等による新たな診療報酬の加算獲得など収益の増加に努めました。

費用面では、各施設で一般経費の見直しなどの経費圧縮をはかりましたが、感染症対策における委託費の増加や超過勤務手当等が増加しました。また、燃料の高騰等による水道光熱費の増加にも追い打ちをかけられました。

その結果、多額の新型コロナウイルス関連補助金の交付を受け、最終純利益は16億円余を計上したものの、事業利益では72億円余の損失金となりました。

主な取り組み

- 新型コロナウイルス感染症患者の受入及び専用病床確保、更にはワクチン接種等自治体行政との連携・協力のもと、感染症対策に取り組んだ。
- 新潟県の示したグランドデザインを基本に、地域医療構想の実現と持続可能な事業運営のため、「サステナビリティアクション2030」により本会施設の将来的方向性の議論を開始した。
- 今後の地域医療需要の変化を見通し、本会施設の機能の見直しに取り組むとともに、機能変更に加え、機能再編や集約化（統合）及び施設整備に向けた準備を進めた。
- 本県における医師不足が顕在化する中、新潟県の医師養成修学資金制度を活用し、JAグループからの支援を受ける中、杏林大学との連携により将来的な厚生連病院への優先的医師配置が形づくられた。



**JA新潟厚生連
安全・安心への取り組み**

JA新潟厚生連では、皆様により安全で受診等で施設をご利用いただけるよう、感染対策の取り組み「Niigata-kouseiren Safety & Security Commitment(JA新潟厚生連 セーフティー&セキュリティ・コミットメント)」による環境づくりを努めています。

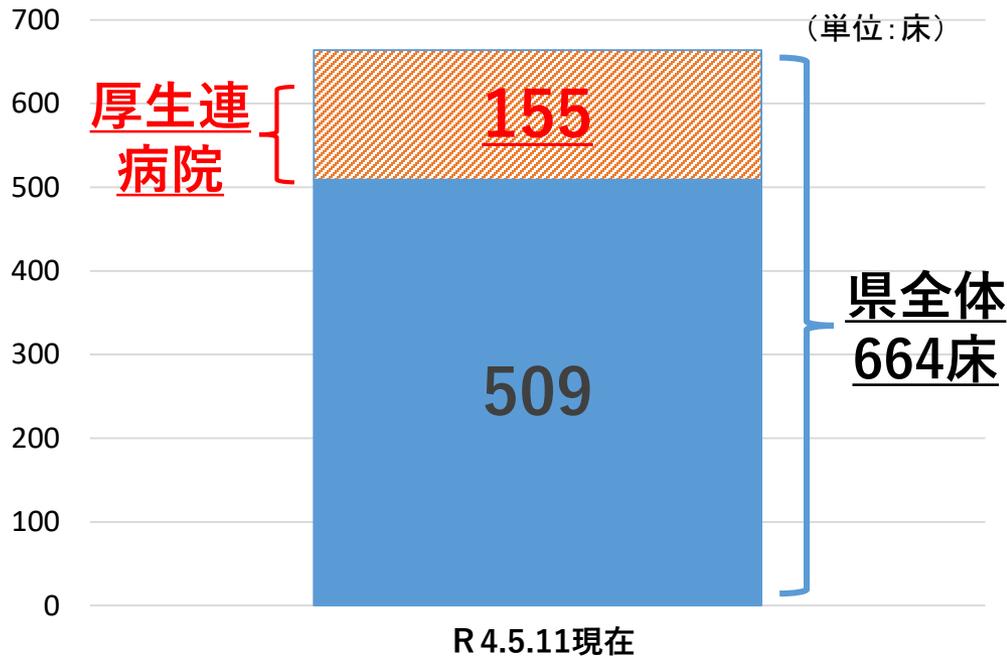
Safety & Security

- 1. 従業員の衛生体制の強化**
検査前の検温、手洗い手洗いの徹底を徹底し、マスクやフェイスガードを着用。感染防止に関する院内教育を強化し、来院者の方々に対応しています。
- 2. 飛沫防止対策の徹底**
受付や会計窓口、飛沫防止スクリーンを設置。窓口への整理・待合場所の間隔を確保しています。
- 3. 感染症に対応するスタッフの配置**
感染症に対応する医師や感染管理認定看護師(日本看護協会認定資格)を厚生連内の多くの病棟に配置。感染拡大を防止する対策を徹底しています。
- 4. PCR検査機器の整備**
一部の厚生連病院ではPCR検査機器を整備。感染が疑われる方は医師判断の下で検査の実施が可能です。
- 5. 感染症患者受入体制の確保**
厚生連内の多くの病院では感染症患者受入れのための病床確保を含めた体制を整え、県からの患者受入要請時に協力しています。

新型コロナウイルス感染症への対応

- 新潟県の新型コロナウイルス感染症拡大に対して、感染防止対策を徹底し、行政と連携しながら発熱外来診療・検査体制及び感染患者受入病床の確保に努めて参りました。
- 国からの要請を受け、感染蔓延地域に看護職員を派遣しました。

新型コロナ患者受入用病床数



厚生連病院における コロナ患者受入数

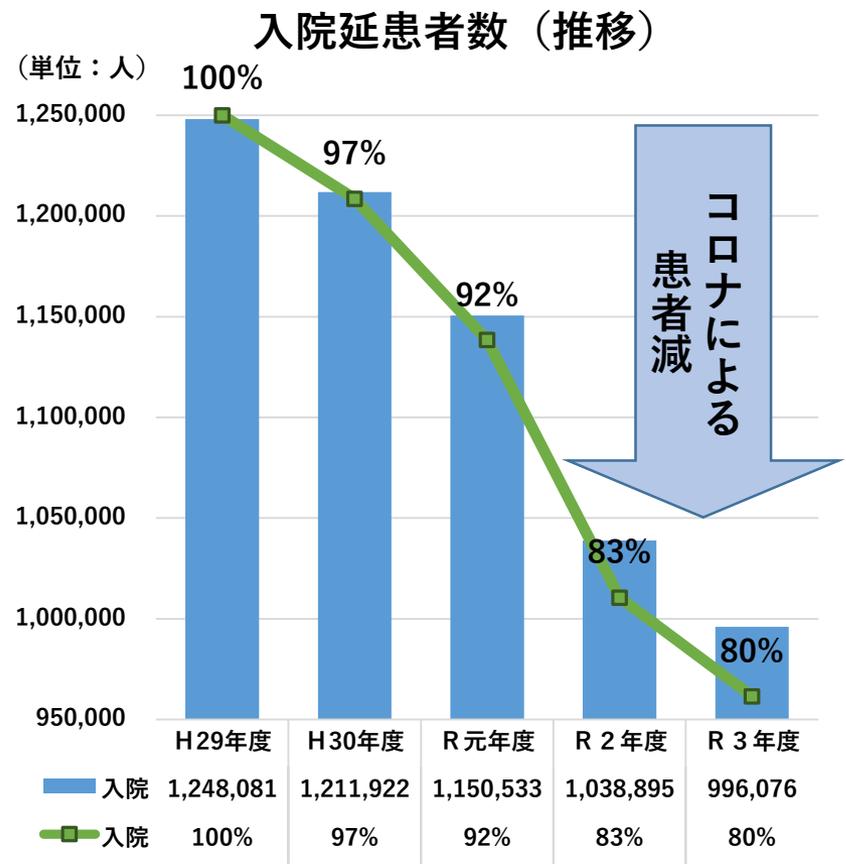
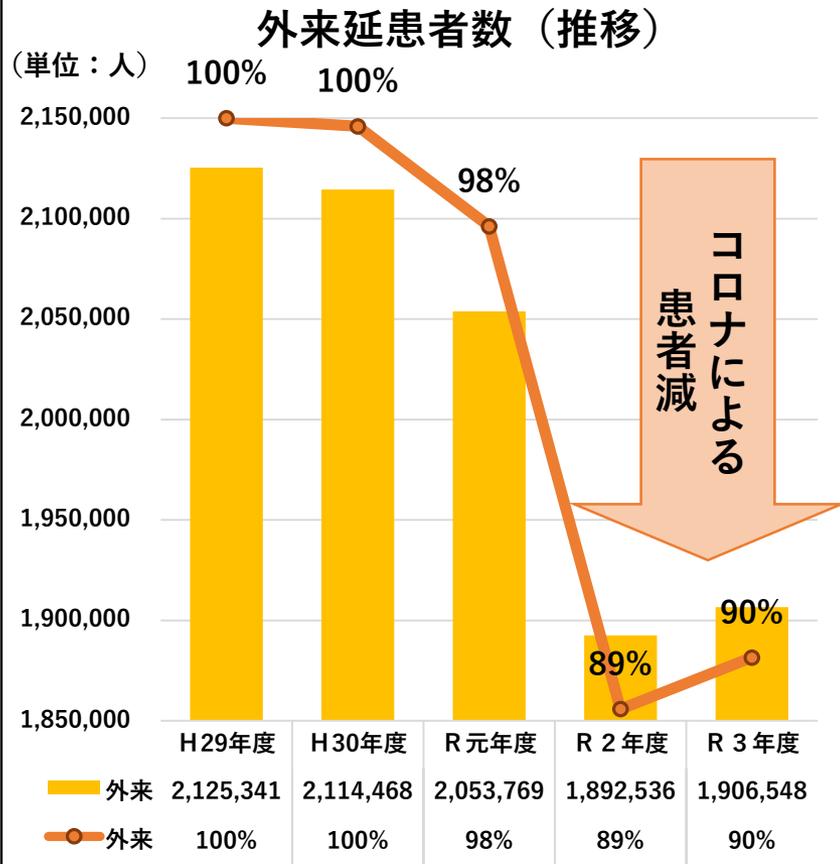
累計1,200名 ※R4.3.31現在



- 新潟県の新型コロナ患者受入用病床数のうち、厚生連病院では県全体の約23%を提供・協力しています。

患者数の動向

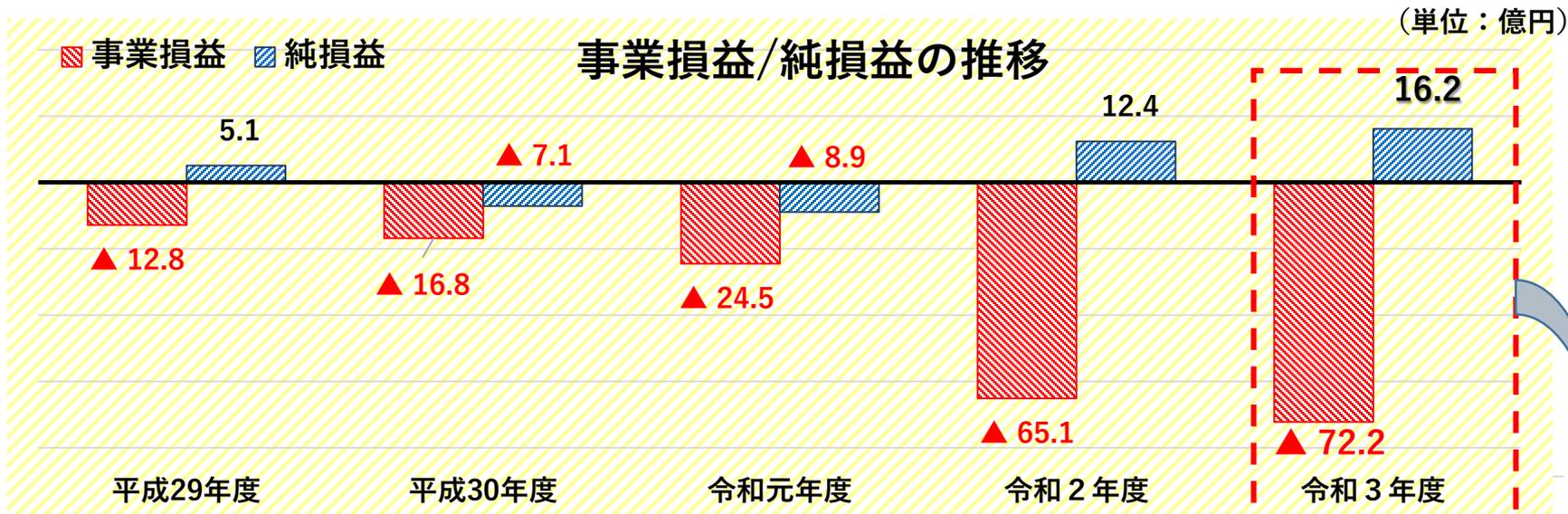
- 全県的な人口減に伴い受診者は年々減少する中、新型コロナウイルス感染症に伴う行動様式の変化により受診抑制が顕在化しています。
- 外来患者数は、前年度より若干の回復傾向にはあるものの、コロナ以前と比べて大幅に減少しています。 また、入院患者数は、前年度よりさらに減少傾向にあります。



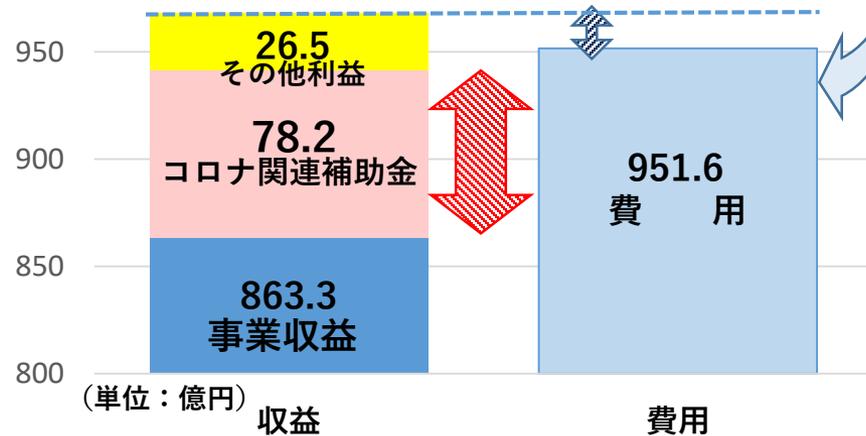
※H29年度を絶対値(100)とした対比 (%)

収支の推移

- 新型コロナウイルス感染症患者の受入等による補助金の受領により収益は増加し、純損益は16.2億円の黒字となりました。
- 一方で、昨年以上の患者数減少に伴う収益の減少により、事業損益は▲72.2億円で、過去最大幅の事業損失に陥っています。



■ 厚生連では、従来から厳しい経営状況が継続している中、新型コロナウイルス患者受入等に対する補助金により最終的には黒字とはなりましたが、事業損益では大きな赤字となり、依然、厳しい状況が続いています。



施設別の患者数／収支

	延患者数（単位：人）				収支（単位：千円）				事業投資
	外来		入院		事業損益		純損益		
	令和3年度	前年比	令和3年度	前年比	令和3年度	前年比	令和3年度	前年比	
糸魚川総合	139,559	414	75,731	▲2,600	▲483,745	▲176,261	▲22,316	▲76,240	
けいなん総合	75,627	333	35,081	2,035	▲60,509	36,356	122,092	33,905	
上越総合	191,403	3,248	91,110	2,775	▲865,889	▲62,347	481,289	▲19,676	
柏崎総合医療	169,101	847	93,410	▲7,884	▲559,307	▲120,998	914,890	187,733	
小千谷総合	154,503	2,903	80,848	▲5,079	▲1,163,519	▲118,538	▲1,009,643	▲145,796	H29年4月移転新築
長岡中央総合	366,524	3,843	144,609	▲5,437	2,583	399,350	1,372,050	128,374	
三条総合	86,160	▲1,587	49,308	▲4,442	▲274,107	▲131,444	119,343	2,524	
新潟医療	136,198	1,578	109,545	1,688	▲595,341	▲26,036	648,716	▲39,653	
豊栄	84,379	153	51,017	▲929	▲136,278	30,740	91,535	132,392	
あがの市民	100,900	4,434	44,765	▲4,514	▲184,378	64,386	37,759	23,044	
村上総合	130,375	▲1,554	62,491	▲3,200	▲1,712,533	▲412,900	▲368,587	495,007	R2年12月移転新築
瀬波	12,398	750	30,316	▲2,015	▲87,895	2,188	10,059	5,546	
佐渡総合	221,315	188	92,926	▲9,295	▲759,479	▲240,035	▲186,749	▲287,439	
真野みずほ	13,540	▲281	28,925	▲3,791	▲254,374	▲86,035	▲213,559	▲88,282	
南佐渡医療	14,248	▲622	5,994	▲131	▲129,429	1,373	▲85,826	▲30,943	
メンタルケア中条	10,318	▲635	—	—	▲74,217	▲28,555	▲224,692	▲186,367	
老健さど	—	—	—	—	▲58,114	▲40,033	▲57,726	▲44,869	
本部	—	—	—	—	180,533	28,864	—	—	
合計	1,906,548	14,012	996,076	▲42,819	▲7,216,991	▲706,341	1,621,148	382,373	

今後の情勢

- アフターコロナに向けて経済活動へ舵を切り始める中、コロナ禍で進んだ行動変容による受診抑制、人口減によりコロナ以前の回復は困難であり、収支も悪化すると予測しています。
- 医療情勢では、2024年から施行される医師の働き方改革が迫るとともに、診療報酬制度も地域医療構想の実現に向け連動し、診療実績に基づいて診療機能・病床機能を選択せざるを得ない評価となっていることから、それに対応したスタイルの変革が求められます。



今後の取り組み

- 引き続き、新型コロナウイルス感染症予防策に取り組み、通常診療に努めてまいります。
- 経営基盤の構築をするため、コロナ禍によつての新しい生活様式や情勢に合わせた変革を進めてまいります。

スローガン

みなさまの健康と心の支えに

私たちは、地域住民の健康的な生活の実現のみならず地域社会を支え、
多くみなさまから愛され、信頼される組織を目指します。



理念

JA綱領のもとに、医療・保健・高齢者
福祉活動を通じ、組合員・地域住民の
「生命」と健康な暮らしを守り、
ゆたかな地域づくりに貢献します。

宣言

人口構造の変化に対応し、多くみなさま
から愛され、信頼される組織として、将来
にわたり継続的な運営に努め、地域医療を
支えてまいります。